

Quick調査レポート「任意接種ワクチンに関する調査」

Topics

- ✓ 小児科・一般内科において、任意接種ワクチンについて医師に相談する患者の割合は、かなり少ないことがうかがえる
- ✓ 行政や製造・販売メーカーに対する要望としては、「安定供給」、「定期接種対象疾患の拡大」、「一般への啓蒙」が多かった
- ✓ 医師に対する「情報提供」より、「一般への啓蒙」の要望が多かったことから、医師が患者・家族に対する任意接種ワクチンの説明や接種勧奨に課題があり、正しい理解が広まることを望んでいると考えられる

調査背景・目的

- ✓ 任意接種ワクチンは、行政やメーカーなどが啓発をしているものの、定期接種と比較して、接種の必要性が認識されていなかったり、費用負担の関係で接種すべきか本人・家族が悩むことも多い。
- ✓ 本調査では、小児科・一般内科の医師に対し、それぞれ4種の任意接種ワクチンについて、患者から接種の相談をどの程度受けているか、またメーカーや行政に対してどのような要望があるかを確認する。

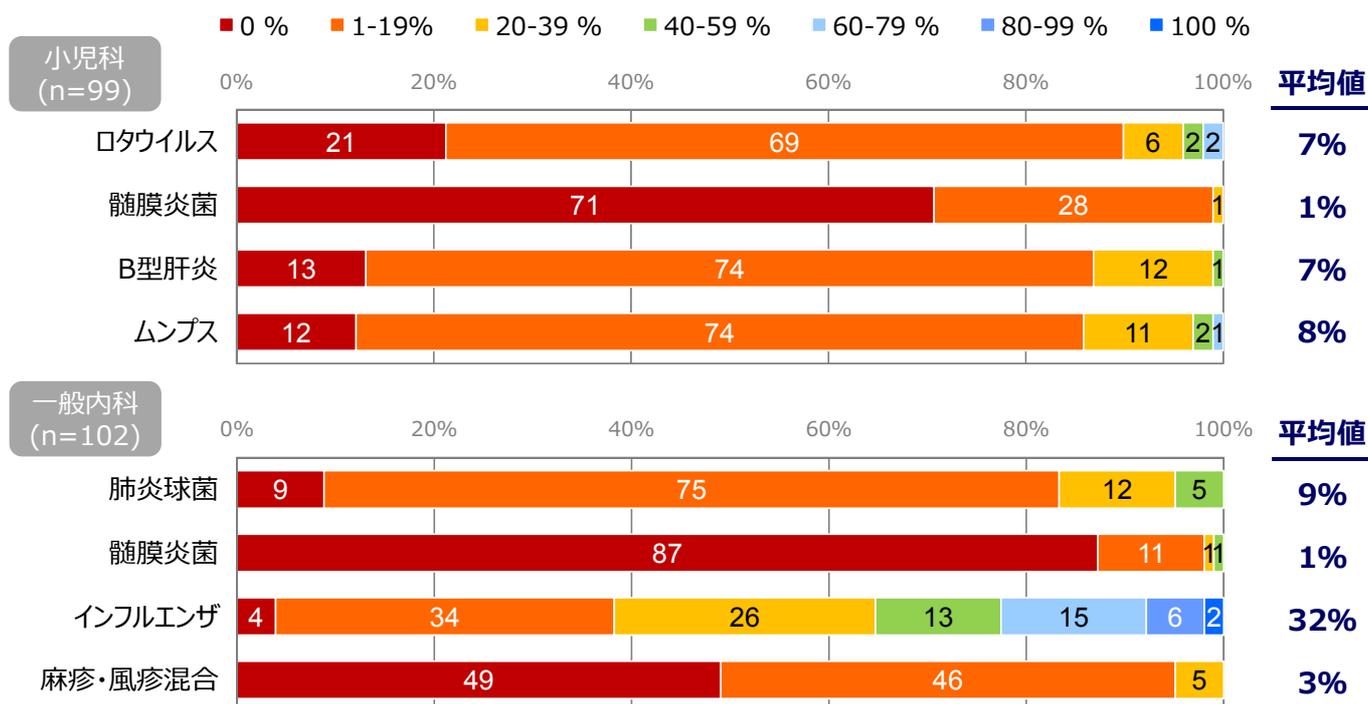
調査概要

調査方法：インターネット調査 *クイックサーベイ
 調査地域：全国
 調査対象：小児科／一般内科

有効回答：小児科99s／一般内科102s
 調査期間：2015年11月25日～11月26日
 調査主体：株式会社アンテリオ Quick Survey室

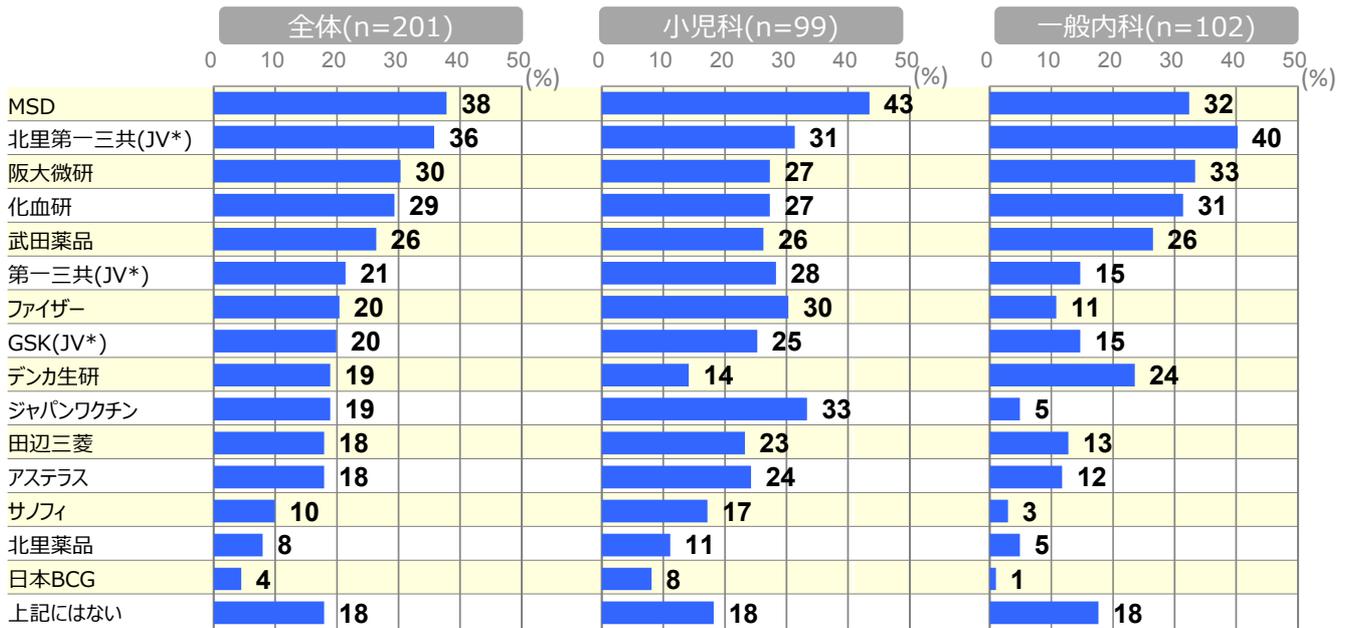
調査結果

【最近1年間】全診療患者のうち任意接種の相談があった患者割合



よい印象を持っているワクチンメーカー（複数回答）

*ジャパンワクチン（JV）は製品に元のメーカー名が残っているため、元の製造販売メーカーにジャパンワクチンを併記の上で聴取



【任意接種ワクチン】行政や製造・販売メーカーに対する意見や要望（自由回答）

*代表的な意見を掲載（長いものは要約）

安定供給（小児科：14件 一般内科：9件）

- ・当院では予約なしで接種できる体制をとっており、出荷制限や調整がとて困る(GP小児科)
- ・供給のトラブルがないように、他の企業と連携してほしい(GP小児科)
- ・今年のインフルエンザワクチン供給の不振がよくなかった(GP一般内科)

定期接種対象疾患の拡大（小児科：17件 一般内科：2件）

- ・ロタウイルスワクチンを定期接種に加えて欲しい(HP小児科)
- ・予算をしっかりとって、おたふくかぜを含め、任意をすべて定期にすべき (GP小児科)

一般への啓蒙（小児科：8件 一般内科：10件）

- ・もっと啓蒙によい方法（ポスター、新聞広告、インターネット広告など）で情報を提供していただきたい。両親の情報には間違っていることが多い(HP小児科)
- ・もっと、接種しない場合の危険性、した場合の危険性を詳しく啓蒙してほしい(HP一般内科)
- ◆パンフレット（小児科：2件 一般内科：3件）
- ・ワクチンの効果や安全性が分かる解説(パンフレット等)があると役立つ(HP一般内科)

適正価格（小児科：4件 一般内科：8件）

- ・納入価格が高すぎる (GP一般内科)
- ・インフルエンザワクチンは、納入価も一斉に50%値上げとなったが、値上げの合理的な根拠も示されず、厚労省と製造会社の談合、癒着ではないか(GP一般内科)

助成の拡充（小児科：5件 一般内科：7件）

- ・患者負担金が0に近くなるようお願いしたい(HP小児科)
- ・任意接種でも自治体の公費助成をしてほしい(GP小児科)

安全性・品質（小児科：3件 一般内科：5件）

- ・安全で効果の確認されたワクチンを作してほしい(GP小児科)

情報提供（小児科：3件 一般内科：5件）

- ・副反応などの適切な情報提供(HP小児科)

その他（小児科：16件 一般内科：7件）

- ・保護者への分かりやすいスケジュール表示は、接種率の向上と接種間違いの減少に寄与する(GP小児科)
- ・欧米に後れぬように対策を願う(HP小児科)

特になし（小児科：33件 一般内科：50件）